



(株) いのうえの皆さん

経営概要

- ◆代表者、所在地
井上泰一、群馬県伊勢崎市
- ◆設立年
令和4年9月
- ◆経営規模
露地野菜 450a、水稲 50a、施設野菜 5000㎡
- ◆従業員数
役員1名、臨時雇用2名、技能実習生3名
- ◆事業内容
農産物の生産・販売に取り組む。

1 現状及び相談内容

昭和49年に農業経営を開始し、ガラス温室にミニトマトを導入して収益の向上を図るとともに、キャベツ、ブロッコリー等の露地野菜を組み合わせた経営を行ってきた。「今後、経営の継承が出来ない人が多くなるので、**当地域の遊休施設や農地の受け皿になりたい**」との思いがあり、**法人化による経営効率化・規模拡大を図るとともに、地域農業の継承者を育成したい**と令和4年7月に相談があった。

2 支援内容

中小企業診断士及び社会保険労務士を派遣し、**法人化した場合のメリット及びデメリット、並びに現在雇用している特定技能・技能実習生・パート職員等の労務管理及び税制などに関する助言**を行った。

特に若者は、他産業並みの労働条件が当然だと思っている、とのアドバイスをした。

3 人材の確保・育成に資する取組

★各作業をマニュアル化を通じて、作業の無駄をなくすとともに技術継承できるようにすることで、新たな従業員の雇用ができる職場環境を構築

■就業規則の策定と農業法人の設立

令和4年9月に農業法人「株式会社いのうえ」を設立するとともに、優秀な人材を確保するため、**他産業並みの就業規則を策定**した。

■社員募集開始

栽培管理や雇用管理ができる**中核的な人材を育てるため**、令和6年度からの採用を目指して**正社員の募集を開始**した。

■経営改善の取組

作業の効率化及びノウハウを継承するため、**各作業のマニュアル化**を図っている。



ミニトマトの選別作業の様子

今後の意気込み

- リタイヤした人の施設、農地を活用し規模を拡大したい。
- ・ハウス面積を拡大し、ミニトマトを周年生産化したい。
- ・地域農業の担い手を育成したい。
- ・将来は加工分野等も手がけたい。

専属スタッフ所感

地域農業の担い手として期待している。